

『父母恩重経』を学ぶ

お釈迦さまがこんなことを申されています。

「どれほど自分のそばにいる人でも、恩を知らない人は千里も万里も離れた、ずっと遠いところの人である。恩を知っている人は、たとえ遠く離れたところにいる人でも、自分のそばにいてくれる人である」、このお言葉通り、仏教は恩ということをとても大切なことだと教えている宗教なのです。

さてこの恩について、懇切丁寧に説き示しているお経に『父母恩重経』があります。名前の通り、お父さんお母さんの恩を説いたお経ですが、中味はお父さんで説かれているところが十一カ所、お母さんで説かれているところが三十三カ所あるのです。やはりお母さんの方が多いのですね。たとえば、子どもを産むときのお母さんの苦勞は命がけであると書かれています。

どなたの作か知りませんが、こんな和歌がありました。

「諸人よ思ひ知れかし己が身の 誕生の日
は母苦難の日」

父母の看病についても示されています。「父母病あらば、牀辺を離れず親しく自ら看護せよ。一切の事之れを他人に委ぬること勿れ。時を計り、便を伺いて、懇に粥米を勧めよ」

「お父さんお母さんが病気になられたら、病床を離れず、自分で看護しなさい。すべてのことを他人まかせてはいけない。時間を見ながら大・小便のお世話をし、やさしく心をこめておかゆのご飯を差し上げなさい」と具体的に示されています。これはお釈迦さまが、七十九歳まで生きられたご自分のお父さまになされたそのままを示されているのですね。

恩というのはインドの古い言葉で「カンニユウ」といい、してもらったことを覚えて覚えている。してもらったことを思い出す」との意味なのです。私たちは、「されたことは覚えていない、してあげたことは覚えている」ということになりがちです。『父母恩重経』、一度味わってみてください。

盂蘭盆会法要 8月13日～16日

13日13時より、14日～16日は10時より

- *七日盆供養・万国自然災害犠牲者供養 8月7日10時より
- *二十日盆供養・万国戦死病没者英霊供養 8月20日10時より

令和6年度 護持会総会報告

當寺護持会会員の皆様方には、常日頃から菩提寺龍昌寺のため、お力添えを頂いておりますこと心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

一昨年の「内外水洗トイレ工事」も恙なくおわり、壇信徒皆様方には大変喜んでご利用頂いております。

また、令和5年度も「本堂合拝床板取替工事・車いす使用のスロープ工事・参拝者下駄箱工事」等も無事終わりました。

本年度は、明治42年火災に遭い、本堂庫裡を全焼、そのおり本堂の「欄間の彫り物」の相当を消失、一部が残っております。その復元と修復工事を、本年度の事業に予定しております。

令和6年6月27日、本年度護持会総会を龍昌寺本堂で開催されました。

ここに、令和6年度護持会の事業及決算書・予算書のご報告を申し上げます。

令和6年度護持会費納入についても、昨年同様に宜しくお願ひ申し上げます。尚、諸般の事情により護持会費納入が無理で有られる方は、事務局までご連絡下さい。

龍昌寺護持会会員（壇信徒）各位の菩提寺にお寄せ頂いております「まごころ」に、護持会役員一同深く感謝を申し上げます謝意と致します。

住 職 清水誠勝
護持会長 武藤清吉

令和6年 7月吉日

龍昌寺檀信徒護持会会員 各 位

令和5年度 龍昌寺事業報告書

令和5年4月1日より令和6年3月31日

	行 持・事 業	月 日	備 考
5月	花祭り 5月8日午前10時より 事務局会議	5月 6日 ^{10時} 5月11日	保育園児 午後1時～
6月	会計監査会 護持会理事会 事務局会議 墓域清掃奉仕、(和井内工務店) 本堂、位牌場屋根大掃除奉仕 護持会評議員会(総会)	6月11日 6月17日 6月 4日 6月21日 6月27日	午後1時 午後1時 午後1時 午前8時～ 事務局対応 和井内工務店
7月	墓域清掃奉仕 本堂向拝床板取替工事	7月中旬	飯岡浦漁船団 和井内工務店
8月	七日盆供養 盂蘭盆会供養 二十日盆供養 万国戦死病歿者諸英霊供養	8月 7日 8月13～16日 8月20日	盆中諸供養
9月	秋彼岸会供養 防災点検(防災担当・事務局)	9月19日	受水槽、消火栓
10月	スロープ工事 下駄箱工事		和井内工務店
12月	成道会 除夜の鐘～境田虎舞奉納	12月14日 12月31日	保育園児 内献、関係者のみ
1月	修正会(大般若祈祷会)	1月13日	
2月	八大龍王尊・秋葉三尺坊春祈祷	2月15日	飯岡浦漁船団
3月	釈尊涅槃会 春彼岸会	3月21日	保育所園児

- 1, 毎月 11 日は東日本大震災祥月命日供養を午後 2 時より行った。
- 2, 坐禅会・毎月第 3 土曜日午後 3 時より行った。
梅花講・毎月昼の部と夜の部共にコロナ禍のため休会とす。
- 3, その他、月間、年間に行った行持は別紙(P,11)参照して下さい。

◎その他必要に応じて、護持会事務局が対応しました。

(お願い)

- ◎御墓参りの際、線香・ローソク等火気は必ず消してからお帰り下さい。
お墓掃除で出たゴミは、各人お持ち帰り処分願います。
- ◎コロナウイルス感染防止のため、月例及び年間行持へのご参加は、当分の間マスクを護利用下さい。宜しくご協力のほどお願いします。

◎龍昌寺 HP アドレス御利用ください。

<http://ryushotemple.sakura.ne.jp>



令和5年度
龍昌寺
護持会会計
収支決算書

自 令和5年 4月 1日
至 令和6年 3月31日

(収入の部)

▲印は減額 単位 = 円

科 目	令和5年度 予算額	令和5年度 決算額	増 減	摘 要
会 費 収 入	5,500,000	5,668,000	168,000	会費（前受金含）
雑 収 入	150,000	494,478	344,478	宗費還付金、銀行利息等
寄 付 金	100,000	10,000	▲ 90,000	1名
短期借入金	0	1,104	1,104	切手代
			0	
繰 入 金	0	5,831,100	5,831,100	
前年度繰越金	7,974,702	7,974,702	0	前年度剰余金等
合 計	13,724,702	19,979,384	6,254,682	

檀信徒各位

護持会会長 武 藤 清 吉

(支出の部)

▲印は減額 単位=円

科目	令和5年度 予算額	令和5年度 決算額	増減	摘要
総務費	460,000	371,076	▲88,924	
会議費	10,000	0	▲10,000	
事務費	400,000	371,076	▲28,924	印刷費、郵送料他
慶弔費	50,000	0	▲50,000	
宗派課金	1,400,000	1,354,969	▲45,031	宗務庁、宗務所納金
事業費	3,550,000	7,663,700	4,113,700	
修理費	3,000,000	7,040,000	4,040,000	本堂向拝床板取替工事 スロープ工事、下駄箱工事
教化費	400,000	396,000	▲4,000	HP更新料・寺報発行
法要費	0	0	0	
管理費	100,000	0	▲100,000	寺有林
研修費	0	0	0	
立替金	0	227,700	227,700	
寄付金	0	0	0	
広報費	50,000	0	▲50,000	
雑費	0	0	0	
予備費	8,314,702	0	▲8,314,702	
次期繰越金	0	10,589,639	10,589,639	現金、預金※
合計	13,724,702	19,979,384	6,254,682	

会計監査報告書

令和6年6月9日

宗教法人龍昌寺護持会

会長 武藤清吉 殿

監査委員 横田隆志 監査委員 浜村玲子 

監査日時：令和6年6月9日（日）午後1時より

監査場所：龍昌寺

監査結果：令和5年度宗教法人龍昌寺護持会決算書類は、

収入と支出の状況を正しく示し、適正かつ妥当に

処理されていることを認めます。

令和6年度事業計画

本年度も恒例の仏事・教化事業は、例年と同じく計画致しております。(詳細は次ページ参照して下さい)

先に、令和6年度護持会総会報告のなかでも触れましたが、本年度の営繕修理として、「欄間の彫り物」の復元と修復工事を中心に計画しております。

また、開山390年法要と先住様方の年回法要及び仏教講演会は、諸般の事情により後日役員会で相談のうえ開催の日時、予算等の決定をしていきたいと考えております。

宜しくお願い申し上げます。

住 職 清水誠勝

護持会長 武藤清吉

令和6年 7月吉日

龍昌寺檀信徒護持会

会 員 各 位

令和6年度 龍昌寺事業計画書

令和6年4月1日より令和7年3月31日

	行 持・事 業	月 日	備 考
5月	花祭り 5月8日午前10時より	5月 8日 10時	保育園児
6月	護持会事務局会議 会計監査会 護持会理事会	6月11日 6月	
7月	護持会評議員会（総会） 歴代役員物故者追悼会 墓域清掃奉仕	7月中旬	飯岡浦漁船団
8月	七日盆供養 盂蘭盆会供養 二十日盆供養		盆中諸供養
9月	墓地管理委員会 秋彼岸会供養 防災点検（防災担当・事務局）		受水槽、消火栓他
12月	成道会 除夜の鐘～境田虎舞奉納	12月 8日 12月 31日	保育園児

(備 考)

- 1, 毎月 11 日は東日本大震災祥月命日供養を午後 2 時よりおこないます。
- 2, 坐禅会・毎月第 3 土曜日午後 3 時より梅花講は毎月一回修行します。
- 3, 社会貢献事業「社会福祉法人三心会」（山田町第 1 保育所、とよまね子ども園、織笠保育園）の経営と運営を支援します。
- 4, 龍昌寺 HP アドレス御利用ください。
<http://ryushotemple.sakura.ne.jp>
- 5, その他の年間行持は、別紙を御覧下さい。

(お願い)

- ◎ お墓参りの際、線香・ローソク等火気は必ず消してからお帰り下さい。
- ◎ お墓掃除ででたゴミは、各人お持ち帰り処分願います。
- ◎ コロナウイルス感染症拡大防止のため、月例及び年間行持への参加時は当分の間マスクをご利用下さい
(行持の中止はありません)

龍昌寺年間行持案内

*都合により日時が変更になることがあります。

*ご来山のおりは事前にお問い合わせ下さい。

*電話：0193-82-3089

(月 間)

- 1, 東日本大震災物故者祥月命日供養会・毎月11日14時より
- 2, 永代供養墓及び永代供養者月経・毎月1日10時より
- 3, 坐禅会・毎月第3土曜日15時より16時まで
- 4, 梅花講・毎月一回行っております。入講希望者及び見学ご希望の方はご連絡下さい。

(年 間)

- 1, 1月1日より3日、修正会祈祷・午前10時より
- 2, 涅槃会法要及び八大龍王尊・両大龍王尊並び秋葉三尺坊外権現等各春祈祷
2月14日～15日17時より
- 3, 春彼岸会法要・3月彼岸中日10時より
- 4, 花祭り(灌仏会)・5月8日10時より
- 5, 盂蘭盆会法要・8月13日より16日(13日13時より、14日より16日は10時～)
七日盆供養・8月7日10時より
二十日盆供養・8月20日10時より
- 6, 秋彼岸会法要・9月彼岸中日10時より
- 7, 両祖忌法要・大本山永平寺開山道元禪師並び大本山総持寺開山瑩山禪師の両祖様と當寺開山一機文朔大和様の供養 9月28日13時より
- 8, 成道会法要・12月7日より8日、12月7日17時より供養と法話。
8日10時より正當供養
- 9, 除夜の鐘～行く年来る年～12月31日22時より虎舞奉納、23時より除夜の鐘始まる

(社会貢献事業)

「社会福祉法人三心会」の運営と経営の支援

- 1, 山田町第一保育所
- 2, 織笠保育園
- 3, 幼保連携型認定こども園とよまねこども園

令和6年度
龍昌寺
護持会会計
収支予算書

自 令和6年 4月 1日

至 令和7年 3月31日

(収入の部)

▲印は減額 単位=円

科目	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	増減	摘要
会費収入	5,500,000	5,000,000	▲500,000	護持会年会費
雑収入	150,000	450,000	300,000	宗費還付金、銀行利息等
寄付金	100,000	10,000	▲90,000	
繰入金	0	0	0	
前年度繰越金	7,974,702	10,589,639	2,614,937	
合計	13,724,702	16,049,639	2,324,937	

(支出の部)

▲印は減額 単位＝円

科目	令和5年度 予算額	令和6年度 予算額	増減	摘要
総務費	460,000	480,000	20,000	
会議費	10,000	70,000	60,000	茶菓代等
事務費	400,000	400,000	0	印刷、文具 郵送料
慶弔費	50,000	10,000	▲40,000	寺院 檀信徒慶弔時献花等
宗派課金	1,400,000	1,400,000	0	宗務庁、宗務所納金
事業費	3,550,000	3,550,000	0	
修理費	3,000,000	3,000,000	0	欄間修復費・他
教化費	400,000	400,000	0	ホームページ/寺報他
法要費	0	0	0	
管理費	100,000	100,000	0	コピー機・通信機器・保険料
研修費	0	0	0	
立替金	0	0	0	
寄付金	0	0	0	
広報費	50,000	50,000	0	広告他
雑費	0	0	0	
予備費	8,314,702	10,619,639	2,304,937	
合計	13,724,702	16,049,639	2,324,937	

道路作りの「鞭牛さん」

一、故郷の山や川

この物語は、鞭牛和尚さんが、閉伊川道路を作ったお話です。昔からの道路は、山のでつぺんや、谷の底を、のぼりくだりする、とても難儀な道でした。坂道の上に、まがりくねり、大水が出たり、大雪が降ったりしますと、人も馬も牛も通れなくなり、其の上、がけくずれなどで、死んだり怪我をしたりして、大変不便な上に、あぶない道路でした。鞭牛さんが、人々の、此の難儀をごらんになって、「自分は、仏様のありがたい教えを説いて、人々に、よい心がけの人になるよう、口をすっぱくして、人の道を話しているが、口先だけの話しではだめだ。自分で仏の道を作れば、人々は、だまっけていても、自分の作った道を、よろこんで歩いてくれるだろう。閉伊川街道作りを、自分の一生の仕事にしよう」と、決心しました。そして、「一心岩をも通す」と言う「たとえ」の通り、長い年月をかけて、慌てず急がず、谷を渡り、山をこえ、岩を砕いて、立派な安全な道路を御同行達と、力をあわせ、念仏をとえながら、作り上げました。この「なさけ」の道路が、宮古や下閉伊の血管となつて、文化がどんどんと入りこみ、みちがえる程の世の中となりました。今の国道一〇六号線も、国鉄山田線も、鞭牛さんが、約三百年前に作った道路を、もとにして設計されたものだと
言われております。

鞭牛さんは、宝永七年（西暦一七一〇年）今から、三百年前に現在の宮古市和井内の通称「清水」といわれる農家に生まれました。佐々木と言う苗字で、根城に城をかまえた閉伊頼基公の一族の子孫と伝えられています。そのころ、和井内には家のかず二七軒、馬は一七二匹あったとの事です。鞭牛さんの生まれる前の年に、おじいさんが亡くなり、十五才のときおばあさんが、二十二才のときお母さんが亡くなり、三十二才の時、お父さんが亡くなっております。

(続く)

(文責・清水誠勝)

【宗教法人曹洞宗龍昌寺】

龍昌寺護持会

郵便番号028-1333

岩手県下閉伊郡山田町後楽町4-5

電話0193-82-3089

FAX0193-82-4099

(HP) <http://www.ryushotemple.sakura.ne.jp>

【社会福祉法人三心会】

電話 0193-82-3137

◎山田町第1保育所ブログ

daiichi3137.blog.fc2.com

◎織笠保育園ブログ

or_i3219.blog.fc2.com

◎とよまね子ども園

wncpn538.blog.fc.com



ひなんばしょ
避難場所
Evacuation Area



たかしお / つなみ
高潮 / 津波
Storm surges / Tsunami



こうずい / ないすい / はんらん
洪水 / 内水氾濫
Flood from rises / Flood from inland waters



どしゃせいがい
土砂災害
Landslides



じしん
地震
Earthquake

りゅうしょうじ

龍昌寺

Ryusho Temple

かいばつ
海拔 9m
Above Sea Level

山田町



大本山永平寺奉賛会 (略称 永平寺友の会) について

このたび、大本山永平寺奉賛会事務局を開設いたしました。
私たちは一口に「永平寺」と申し上げますが、その永平寺には三つの顔があります。

一つ目は、未来を担う僧侶を養成する修行道場としての永平寺、

二つ目は、正しい禅を世界に発祥し続ける永平寺、

三つ目は、人々を正しく導き、安寧へと誘う救済の地である永平寺です。

そしてこの永平寺が背負う役割を確実に護り続けてゆきたいと願って設立いたしましたのが、大本山永平寺奉賛会(略称 永平寺友の会)です。

どうか、この願いを実現してゆくために、『大本山永平寺奉賛会』へのご入会を伏してお願い申し上げます。

ご希望の方には詳細な資料をお送りいたしますので、大本山永平寺奉賛会事務局までお問い合わせ下さい。



大本山永平寺奉賛会事務局

(担当 藤村 令和4年4月1日設立)

〒910-1294 福井県吉田郡永平寺町志比

☎ 0776 - 63 - 4369 FAX 0776 - 63 - 3493

(平日9時～15時)